

# 建材マンズリー

The KENZAI Monthly

8

550号記念 特別対談

## 今、語ろう。 ニッポンの暮らし

中村 好文さん × 門倉 多仁亜さん

### Coffee Break

これからの賃貸住宅に  
求められるクオリティ

### FRONT RUNNER

株式会社オーエックスエンジニアリング

徹底した非常識から生まれる  
新たな常識

### +Biz Topics

住友林業ニュース

建材マンズリー資料室

# 今、語る。ニッポンの暮ららし。

東日本大震災以降、住まい、環境、防災、まちづくり、エネルギー問題などをめぐり、暮らしに対する人々の価値観が揺らぎはじめています。今回は建築家の中村好文さんと料理研究家の門倉多仁亜さんをお招きし、これからの暮らしについて語っていただきました。



建築家

## 中村好文

晴れでも雨でも「いい天気」

**中村** 今日の対談は、私の設計したこの「葉山の家」でぜひやりたかったんです。

**門倉** とても居心地のいいお家ですね。見晴らしも素晴らしいし。

**中村** 晴れた日には湘南の海と富士山を眺めることができるんですよ。今日はあいにくの天気ですが。

**門倉** 葉山は神奈川県でも、別荘地として有名ですよ。環境も申し分ありません。

**中村** 庭の南側には保護林があって、北側には竹林があります。自然あふれる気持ちの良い立地なので、家の外と中がつながっているような家にしたんです。北側と南側に開口部を大きく取ったので、風が吹き抜けて気持ちいい。さらに土足で入れるようにしてあるので、ますます家の外と中に境がない感じですよ。

**門倉** 気兼ねなく入れる雰囲気です。人が集まりやすい家なんですよね。

**中村** そうですね。それからこの家の大きな特徴は、雨水を地下のタンクに貯めて、トイレと洗濯の水に利用していることです。太陽光発電システムも設置しているので、自然の恵みを大いに活用できる家なんです。

**門倉** それはすごいですね。

**中村** この家を建てたのは、2006年のこと。住み手のEさんは以前から環境問題に対する意識が高く、今回のエネルギー問題が起こるずっと前からこのような住宅を建てようと考えていました。Eさんは「晴れば電気が貯まるし、雨が降ったら水が貯まる。だから晴れの日も雨の日も楽しみ」とサラリと言います。確かに「今日はいいい天気だ」というと普通は晴れの日を指しますが、本当は雨でも「いい天気」なんですよね。

**門倉** 考え方次第ですね。

**中村** そうなんです。人間は都会に住むと、自然の恵みに対して疎かになります。太陽や雨の恵みを忘れてしまいがちです。そこで、こうやって雨水を再利用したり、太陽光発電システムを設置すると、自然への意識ははつきり変わります。

**門倉** 私もそう思います。2年前に、夫の実家のある鹿児島に家を建てたんです。生活のベースは引き続き東京なのですが、毎月一度は鹿児島で田舎暮らしを楽しんでいます。鹿児島にいと、近所の人が季節の野菜を持ってきてくれたりして、東京にいるより自然を意識しますね。太陽光発電システムを設置しようとしたのですが、周囲があまり乗り気ではなくて……。鹿児島は火山灰が降るから、太陽光パネルの掃除が大変なこともあるかもしれません。

**●中村好文**（なむら ふみひこ）1948年千葉県生まれ。1972年武蔵野美術大学建築学科卒業。設計事務所勤務の後、都立品川職業訓練所木工科で家具製作を学ぶ。1981年レミングハウス設立。1987年三谷さんの家で第1回吉岡賞受賞。1993年一連の住宅作品で第18回吉田五十八賞（特別賞）受賞。1999年より日本大学生産工学部居住空間デザインコース教授。

**●門倉多仁亜**（かむら たるあ）1966年兵庫県生まれ。日本人の父とドイツ人の母をもち、日本ドイツアメリカで育つ。国際基督教大学を卒業後、外資系証券会社に勤務。結婚後、夫の留学のためにロンドンへ渡り、料理とお菓子を学ぶためにル・コルドン・ブルーを卒業。帰国後料理教室をスタート。現在はテレビや雑誌などで料理を紹介しながらドイツのライフスタイル全般を紹介している。



## 門倉多仁亜

料理研究家



日本人の豊かさは  
モノとイコール。  
精神的な豊かさを  
評価する人が  
少ないですね

## 「価値基準」を 確立しなければ 日本の暮らしは 豊かにならない

**中村** ところで、門倉さんはお母様がドイツ人で、お父様が日本人なんですね。  
**門倉** 2歳から1年間、6歳から1年間、18歳から1年間だけですが、ドイツに住んでいました。

**中村** ドイツといえば環境先進国ですが、普段の暮らしでもエコに対する意識は強いのでしょうか。  
**門倉** 環境に気遣うことは当然のことですが、ドイツも昔から意識が高かったわけではありませんでした。1970年代以降、工業が発展するとともに、もみの木が密集した「黒い森」と呼ばれる森林が酸性雨によって多大な被害を受けました。このことがきっかけとなって、守るべきものは何かはつきりと分かり、環境に対する意識が急速に高まってきたのです。80年代に入ると、政界では「緑の党」という環境政策を推進する政党が台頭するようになり、ますます暮らしに「エコ」という考えが浸透していきました。最近、日本でやっと定着してきたエコバッグは、ドイツでは昔からありましたね。

**中村** 「環境に対する配慮は当たり前」という意識だからこそ、行動に結びつき、習慣化していったのでしょ。日本もかなり進んできたものの、まだドイツのレベルまでには達していません。  
**門倉** どちらも自然が好きで国民だから、社会背景は似ています。違うのは、日本が「消費社会」であることだと思います。日本にはおしゃれなお店がたくさんあって、次から次へと新商品が発売され、見るもの何でもほしくなってしまうんです。ドイツ人は、基本的に必要なもの以外はあまり興味がない人が多いんです。

**中村** 日本人にとって豊かとはモノなんですよ。ブランド品を身につけ、高級外車に乗り、別荘で大型のプラズマテレビを見ている人が豊かな人と見なされる。精神的な豊かさを評価する人が少ないんです。購買意欲をそえる宣伝にうまく乗



商品を開発できるのも素晴らしいですね。  
**中村** そうした生活のちよとした工夫は、確かに日本人の得意とする部分でした。しかし、今は一人一人がその知恵を働かすことを怠っているようにも思います。3・11を経験して分かったのは、あんなに便利さを売り物にして爆発的に普及した携帯電話が、一番使いたいときにまったく役に立たずだったこと。携帯電話が普及しているからと、街の公衆電話をほとんど撤去してしまいました。地震の際、実際に使えたのは公衆電話でした。何か新しく便利なモノが出てきたら、それに飛びつく前に、その便利さを手に入れることで、失ってしまうモノがある、それをちゃんと考えておきたいと思っています。

**門倉** 「疑ってみる」ということですね。  
**中村** そうです。日本人は新しいモノ、便利なモノにすぐ飛びつく傾向がありますが、便利さと豊かさは必ずしもイコールではありませんよね。これは、住まいや暮らしに関しても言えることですね。  
**門倉** 確かに便利さだけではなく、この家も同じ。味気ないし、愛着が沸きません。大切なのは、「二手間かけること」だと思います。自分でできることはやらないと。壁が汚れてきたら塗り替えればいいし、暑くなってきたらカーテンを薄手のものに換えればいい。面倒かもしれないけれど、その一手間で、暮らしはぐっと豊かになると思います。

## 探偵十 医者十 仕立屋 || 建築家

**門倉** ここのお宅はキッチンも素敵ですね。  
**中村** 大勢人が集まる家だから、シンクを二つにして、一つはアイランドキッチンに入れてあります。台所の周りに自然と人が集まってくる

て、いつの間にか手伝えるように工夫しています。  
**門倉** それはうれしいう造りですね。人が集まってきたときに二人で料理するのは寂しいです。みんなの声が聞こえないところで料理をしていたら、自分だけ働かされている気分になります(笑)。日本のキッチンは、家の中でも一番日が当たらない北側の場所にありま

す。  
**中村** 昔は食べ物が傷まないように、家の中でも日が当たらない北側に台所を配置していました。家事労働が冷遇されていたので、家の隅に追いやられていたこともありますが、今は時代が違って台所は重要な場所です。私も料理をしますから、クライアントのキ



ドイツ人の  
価値基準は、  
「環境に負担を  
かけない」こと。  
エコバッグは  
常識です

せられているといつても過言じゃない。  
**門倉**そこは、ドイツ人は日本人と反対。宣伝を鵜呑みにするようなことはありません。「本当に必要なかしら」と斜めから見てもう場合が多いですね。

**中村** ドイツ人には、きちんと「自分はこうやって生きていきたい」という精神面での「価値基準」があるんだと思いますよ。一方で、最近の日本には、暮らしに対するぶれない価値基準をもっている人が少ないのだと思います。だから、今回の3・11であれだけ大きなエネルギー問題が起こっても、多くの人は気にかけながらも、観覧車のライトアップが復活したり、止まっていたエスカレーターが動き出していたり、公共の場所でも節電はなし崩し的にしなくなっ

てきています。原発問題はますます深刻化しているというのに、全体的には3・11以前の生活に戻りつつあるような気がします。何でもすぐに忘れてしまふのか、忘れたふりをして現実問題を直視しないようにしているのか、そのあたりがよく分かりませんけれど。  
**門倉** 先日、ドイツに住んでいる妹から聞いたのですが、ドイツでは「照明をすべてLEDにして、サーバを冷却させる技術を開発するだけでも、かなりの節電になるのでは」という意見が出ているそうです。エネルギーを「使う」「作る」だけでなく、大きな単位で「節電」する——。確かに、そう考えればまだまだできることはありますよね。日本人の得意とする分野ではないでしょうか。ドイツでは「環境に負担をかけない」という精神面での価値基準が非常にしっかりとっているから、そういったアイデアが次々と生まれるのだと思います。

## 便利さに 隠れて 失われていくモノ

**門倉** 私が日本の暮らしで共感できるのは、ちよとした生活の知恵で快適に過ごせるように工夫しているところ。夏を涼しく過ごすために打ち水をしたり、すだれやよしずを立てかけるのが良い例ですね。見た目にも涼しいし、一石二鳥。この知恵は素晴らしいと思います。今年の夏は、節電対策として日射熱をカットするシートを窓に貼ってみました。貼ってある窓と、貼っていない窓の温度を測ってみたら、10℃も差があつて驚きです。こんな

作業がしやすい大きなシンクを作り、大きな魚をさばけるまな板が置けるようにしてあげるとか。  
**門倉** それは面白いですね。  
**中村** シャロック・ホームズみたいでしょう(笑)。大学で建築を教えているのですが、学生によくこう言うんです。「探偵、医者、仕立屋の3つを足して3で割ったのが、建築家だ」と。探偵のようにクライアントを観察して、医者のようにその人と向き合い、仕立屋のようにぴったりフィットした住宅を造る。それが、建築家の役目なんです。

**門倉** 住む人のことを徹底的に考えるんですね。  
**中村** そうですね。私は設計した家のことを、自分の「作品」とは思っていないくて、あくまでそこに住む人たちが主役だと思っています。結果的に、住む人にとって本当にいい家は、多くの人が見てもいい家になります。だから、誰が見ても「いい家」と思える家を造りたいんです。以前、『住宅巡礼』という本を作るために、建築家が建てた20世紀の名作住宅を見学しに、世界各地を旅したことがあります。いい家は、どれも見た瞬間、入った瞬間に「この家はいい家だ」と分かるんです。例えば、スウェーデンで1920年代に建てられた古い家を見に行くときですね。その時代のスウェーデンの風習習慣も、暮らしぶりも分らない。気候風土のことも、よく分らない。それでも、その家がいい家であることは直感的に分かるんです。家にスピリットが宿っていることがはつきり分かる。人の棲み処においがする、といったら分かるやすいかもかもしれません。

**門倉** それはなぜなのでしょう。  
**中村** それはなぜなのでしょう。



今回撮影にご協力いただいた「葉山の家」は、中村さんの著書『普通の住宅、普通の別荘』に掲載されています。ぜひご覧ください。

550号記念  
特別  
対談  
今、語ろう。  
ニッポンの  
暮らし

**中村** 決定的なことはよく分からないんですよ。ただ一つ言えるのは、住む人に愛されたかどうかがかなり重要な決め手になるらしいことですね。住む人がその家に対して無神経な扱いをしていたら、いくら素晴らしいデザインだったとしても、魅力はなくなってしまうと思います。家がいじけてしまいうんどうでしょうね。

**門倉** 分かります。物が多くて、少し散らかっていても、何だかいい感じの家ってありますよね。それも住んでいる人に愛されているからかもしれないですね。あと、特に魅力的だと感じるのは、周りの風景と馴染んで、主張していない家です。

**中村** それは本当に大切なことですね。

**門倉** 鹿児島に家を建てるとき、そこは注意しましたね。周りに溶け込むように、外観は和風の家にしたいと思いましたが。外壁に杉を張り、瓦屋根にしているんです。でも、私の好みで、中はすべて洋室なんですよ(笑)。

**中村** 家は自己表現するためのものではありませんから。景観との調和は重要なことだと思います。

## 家を育てていくことの大切さ

**門倉** これからはエコの時代。ドイツでは家を100年もたせることは当然のことですが、日本でも長く住まうのが当たり前になってくると思います。

**中村** 確実にそうなってきましたね。その意味でも、これから日本人は、家を「消費」するのではなく、「育てる」意識を持つべきです。

**門倉** 一手間かけることと同じで、「育てていく」って素敵ですね。日本では引越と同時にインテリアをすべて揃えるのが普通ですが、私は徐々に揃えていきます。気に入ったものが見つかるまでは買いません。揃えていく楽しみがあるんです。

**中村** 焦らなくてもいいんですよ。私のクライアントで若くて予算の少ない人にはよくこう言うんですよ。「最初から全部完成させようと考えないで、だんだん仕上げていく方法もありますよ。床なんかもとりにあえず下地の合板だけ張っておき、お金が貯まったらひと部屋ずつちゃんとした床材を張って仕上げていったらいいか?」ってね。5年越し10年越しで家が完成していくっていうのも子どもの成長みたいで楽しいと思うんですが、意外と賛成してもらえないんです。どうしてでしょうね(笑)。

日本人は、家を消費するのではなく、育てる意識を持ってほしい(中村さん)



少しずつ家を良くしようと計画するのも楽しそうですね(門倉さん)

**門倉** 私も何もかも最初に造らなくてもいいと思いますよ。ドイツにいる私の祖父は、毎年予算を決めてリフォームの目標を立てているんです。「今年にはタイルを貼り替えよう」「今年には壁を塗り替えよう」といった具合に、少しずつ家を良くしようとしています。計画を立てるのも楽しそうですね。

**中村** この家も、ベランダから2階へ続く階段を付けようって話しているんです。図面もできているので、来年くらいにはやりたいですね。

**門倉** 後々好みが変わるかもしれないし、無理に全部固めなくてもいいですよ。しかも、最初に全部決めるのは大変です。

**中村** そうですね。ただ、家を育てていくためには、家のことを理解しておく必要があります。そのためには、建具を調整したり、壁を塗り替えたりするなど、簡単なことは自分でやるようにしないとダメですね。学校で男子も女子も、住まいに関することをもっと教えれば、そういった知識と習慣が身につくと思います。もちろん、家に住む側だけでなく、家を建てる側も変わっていかなければいけない部分もありますね。

**門倉** 一人ではなかなか難しいけれど、大勢ならできることはたくさんあると思うんです。ドイツには、持続可能な生活を送るための実験的な共同体「エコビレッジ」がさまざまな地域に誕生しています。「エコビレッジ」では、なるべく環境に負担をかけない建築方法の模索、水の循環利用、自然エネルギーの有効利用などを研究しながら、人々が実際に暮らしているんです。

**中村** 日本でも、日本の風土に適した方法でそういったコミュニティが育ってほしいですね。3・11を境に、環境問題にしても原発問題にしても、粘り強く、本気で向き合っていく必要があります。今の時期に日本人の意識が変わらなければ、この先絶対に変わることはないと思いますね。

**門倉** 昔は機内でタバコを吸うのは普通でしたが、今は禁煙が当たり前になっているように、意識を変えることはできると思いますよ。

**中村** 日本が本当に変わるなら、今しかないんです。「頑張ろうニッポン」という標語より、「目を覚ませ、ニッポン!」と言いたい方がいいと思います。

**門倉** 少なくとも、禁煙ができた人なら、すぐに変われると思いますよ(笑)。

**中村** ぜひ、そう思いたいですね(笑)。



お二人のサイン本をプレゼントします。詳しくは10ページをご覧ください。



550号記念

特別対談  
今、語る。  
ニッポンの  
暮らし





## これからの賃貸住宅に求められるクオリティ

### 各社競う賃貸住宅の付加価値

相続税改正による節税対策や将来不安による安定収入確保と、オーナーの賃貸住宅経営意欲は衰えていない様子。しかし賃貸市場は空室率が20%に迫り、長期安定経営は大きな課題。そこで住宅メーカー各社もオーナー視点から入居者視点重視で差別化を図る新商品発表が続いています。ハード面からは、上階音対策の高遮音床システム(積水ハウス)や大容量PV搭載による光熱費削減(セキスイハイム)、ファミリー向けではメゾネットで+αルーム(ミサワホーム)や賃貸併用提案(住友林業※)、外階段・廊下を無くした戸建感覚デザイン(三井ホーム)など。ターゲットを明確にした戦略商品ではペット共生型賃貸住宅(旭化成ホームズ)に注目。自社物件の調査によりペットがコミュニティ形成に寄与している事実を住宅の価値としてハード・ソフトに反映したもの。ターゲット型では他に女性向け防犯配慮型(ダイワハウス)としてセキュリティシステムや収納・デザイン性を付加価値に企画。

中でも斬新な“おためしステイ”実施中の女性専用賃貸住宅「ラシーネ井の頭」(パナホーム)に体験宿泊して来ました。募集条件を「20-35歳くらいまでの単身女性」としたのは、IHクッキングを始めとしたオール電化に親しんで、パナソニックの家電商品と共にパナホームを体験してもらいイメージUPを図る目的。光熱費や備品も込みで安い賃料設定になっていることもあり、2~4週間限定の一人暮らし体験(2名で入居のシェアルームも!)に興味津々の女性達が空き待ち状態(2年間の“おためしステイ”運営後は通常の賃貸契約運営に)。私のステイ感想は、共用サロンの存在に大満足。28㎡・1DKの狭い住戸でしたが広いサロンのお陰で寛げましたし、入居者同士のコミュニケーションも生まれているという事です。

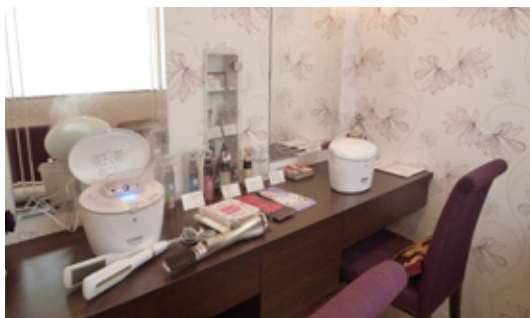
### 入居者にとっての居住性

住まい手の賃貸住宅に対するニーズ調査では「家賃：71%」と並

んで「広さ：64%」が上位の常連(2010年リクルート調べ)。別の世界4大都市の賃貸住宅生活実態調査では賃貸住宅一人世帯の平均面積が東京28.1㎡に対し、NewYorkCity63.1㎡・London70.5㎡・Paris43.8㎡と倍以上。日本の住宅は天井高も低く面積差以上に狭く感じるため、ゆとりある住空間として最低40㎡以上が日本の一人暮らしにも必要ではないでしょうか。特に65才以上の一人暮らし世帯は全世帯の11%、今後も増え続けます。高齢者の一人暮らしは戸建住宅からの住み替えが主で、前住居とのギャップが大きな狭い賃貸住宅では精神的に閉塞感を被る恐れがあります。実は私自身20代後半、ワーカホリックから鬱病を患った経験があり、その1つの原因が住まいにあったのです。戸建から賃貸住宅(1DK)に転居し、仕事に没頭し溜めたストレスを癒せる住まいでは無かった事が悪循環を招きました。精神的健康を保つためにも住居には最低限の広さが必要なのです。或いは「ラシーネ井の頭」のような共用サロンも狭小住戸の解消策であり、高齢者向け賃貸住宅でも“離れ”的な共有スペースがあって気軽に集える仕掛けがあれば住生活にゆとりをもたらすでしょう。

### 高齢者向け住宅政策、疑問と期待

政策としても法改正と共に「サービス付き高齢者向け住宅制度」(2011年4月)が新たに創設されました。ただ床面積の規定が「原則25㎡以上」のままなのは残念。施設では無く‘住宅’であるためにも居住性に一番求められるのはゆとりある住空間であり、ここは見識ある大手住宅メーカーの対応に期待するしかありません。将来的には世帯数減に伴い持家戸建の貸家化が進むので、統計数字上賃貸住宅の平均面積は自動的に広がるのですが、問題は現存、あるいは今後も建築されようとしている40㎡以下の賃貸住戸はどうなるのか?当然空室率が高まり経営難となるでしょうが、そのような狭小住戸に増加する単身高齢者を詰め込むような社会にはしたくないと思うのです。



(左)「ラシーネ井の頭」の共用サロン、3DプラズマTVを見て寛ぐ。大型キッチンも備えたLDスペースは狭い賃貸生活を補完。  
(右) サロンの奥にあるパウダーコーナーにはパナソニックの美容家電&花王の化粧品も用意され女心をチャッチ!

ダイワハウスの幅126cm大型洗面、女性賃貸ニーズに対応

※自由設計による賃貸併用住宅の新商品「Forest Plus (フォレスト プラス)」7月9日発売。(詳しくは、住友林業ホームページ [http://sfc.jp/] をご覧ください)



- 本社：千葉県千葉市若葉区中田町2186-1
- 事業内容：車いすや自転車などの開発、製造、販売
- 従業員数：40名
- 売上高：8億円（2010年9月期）
- http://www.oxgroup.co.jp/

## 株式会社オーエックスエンジニアリング

# 非常識への挑戦から生まれる新たな常識

### バイクで培った技を車いすの世界へ

高級車いす市場で国内トップを快走するメーカーがある。オーエックスエンジニアリング（以下OX）だ。特に競技用では向かうところ敵なし。車いすテニスで史上初のグラントスラムに輝いた国枝慎吾選手やボストンマラソン5連覇中の土田和歌子選手。彼らをはじめOXのマシンを駆つ

て世界の頂点に立ったアスリートは枚挙にいとまがない。

OX製品が支持される理由。それは軽量ながらも高い剛性を誇り、かつコンパクト。そして、従来品とは一線を画す洗練されたデザインなどにある。

石井社長はかつてオートバイメーカーに勤務。独立後はバイクショップを経営、レーサーとしても活躍するなど、その人生は常にバイクとともにあった。84年のアクシデントもやはり愛するバイクが原因だった。新型バイクを試乗中、事故により脊髄を損傷。車いす生活を余儀なくされた。35歳のときのことだ。

やがて届いた車いすに石井社長は落胆した。デザインも機能も期待とは大きくかけ離れたものだったからだ。「7台も乗り換えただけ、どれも気に入らなかつた。ならば自分でつくってみよう」。

こうして始まった車いすづくり。当初は石井社長の個人プロジェクトに過ぎなかつたが、90年にドイツの国際二輪見本市に出

かけた際、自身の車いすが現地メディアに賞賛されたのを機に、事業化を決意。実績はなくてもバイクで培った金属やカーボンなど軽量素材の加工に関するノウハウがある。自信は少なからずあった。

### メーカー優先の業界に風穴

当時、車いす業界は大小合わせで約20のメーカーがしのぎを削る大乱戦。OXは完全に後発だった。石井社長は先行する大手に勝つにはどうすればいいかを考えた。「ライバルがやりたがらないことを徹底しよう」。その発想に基づいて、まず着目したのが「色」だった。当時の車いすのカラーパリエーションはせいぜい5色。「メーカー都合が色濃い業界だったんですよ」と石井社長。「そんな製品がお客様に喜ばれるわけがない。ならばウチは色を増やそう、どうせやるなら100色だ、と。それく

らいやらなきインパクトがないから」。

納期にもメスを入れた。「発注から納品まで3カ月」が当時の業界の常識だった。「常識に甘んじたら埋没するだけ。だからウチは3週間を目指した」と石井社長。納期を劇的に改善するため、部品在庫の水準を一定以上確保し、いつでも組み合わせて製品化できる方法を採用。部品を弁当の総業に見立てて、自ら「弁当方式」と呼ぶこの方法により、最短で2週間、平均3週間の納期を実現している。

保証期間についてもOXは業界最長の10年をうたう。平均が1年程度の業界にあって、まさにケタ違いだ。「他社から10年は長過ぎるのでは？」と言われたけれど、ウチはウチ。実際に9年目の製品を保証したケースもありました。そのときはさすがに参りましてたけど(笑)。でも、10年を保証するくらい品質には自信を持っているし、車いすに限らず全ての製

### 「ものづくりはケンカ」大手の間隙を突く

国内で確固たる地位を築いた現在、OXはアジアに熱い視線を注いでいる。フィリピンに築いた生産拠点を足がかりに、タイ、韓国、台湾、そして中国に販路を拡大中だ。最近では製品の評判を聞きつけて中東からもオーダーが入っているという。

商品開発にも余念がない。2010年には通常の車いすに取り付けられ電動車いすに早変わりする画期的な駆動装置を発表。今後の意気込みを石井社長はこう語る。

「私たちのスタンスはこの先も変わりません。つまり、ライバルがやりたがらないことを先駆けてやる。電動車いすもその一つ。開発費がかかる割に売れてもせいぜい年間2,000台。でも、そういう市場だから、ウチみたいな小回りが利く会社にチャンスがある。そしてその小回りこそが障害を持つ人々の希望につながる。そう信じ、ものづくりを極めたいですね。そのためには、本音で社員と意見を交わし、本気で役所と交渉し、大企業と勝負する。私にとつてものづくりとは「フェアなケンカ」。これほど楽しいことはありません」。



OX製品の価格は約12万円から。高いものは40万円を超える。2～3万円の中国製と比較すると価格差がいろいろ立つ



- 1 車いすテニス界の世界的プレーヤー、国枝慎吾選手もOX製品に絶大な信頼を寄せる
- 2 およそ100色もの豊富なカラーパリエーションが、秀逸なデザインをさらに演出する
- 3 グッドデザイン賞や千葉県知事賞など数々の賞を受賞
- 4 「OX」のロゴは信頼の証し
- 5 スラリと並んだ競技用ホイール
- 6 レース用車いす。最高速度は時速60kmに達するという（下り坂で車いすをこいでいない場合）
- 7 部品の内製化率を高めることで、多品種少量生産や設計変更などに迅速に対応
- 8 「主役は30～40代」（石井社長）の言葉どおり、若い力が現場を支える
- 9 現場では車いすに乗った社員が複数活躍している
- 10 「北京パラリンピックでは、当社製品で戦った選手が計18個のメダルを獲得しました」と広報室の櫻田さん
- 11 自社開発した自転車。車いすで培った折りたたみ機構を活用した

代表取締役  
石井 重行さん



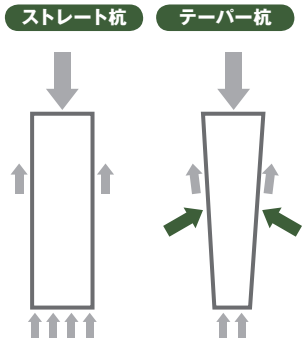
## 住友林業ニュース

### 高性能、短工期、コスト削減を実現した地盤補強工法 「スミリン・テーパー・パイル工法」を開発

住友林業は、軟弱地盤地域における戸建住宅などの小規模建築物の地盤補強工法として、「スミリン・テーパー・パイル工法（以下、STパイル工法）」を新たに開発した。

今回開発した「STパイル工法」は、先端を細くしたテーパー鋼管杭を用いることで、地盤へ回転圧入する時のエネルギーを低減でき、従来よりも少ない杭数で所定の支持力が得られることが特長。従来のストレート杭は、硬質地盤（支持層）に杭先端を到達させ、その先端抵抗によって支持力を発揮して建物を支えていた。一方、テーパー杭は軟弱地盤に設置し、150分の1の勾配傾斜から生じるストレート杭の1・5倍以上の周面摩擦抵抗によって支持力を発揮し、建物を支持する（下図参照）。

3月11日に発生した東日本大震災では、液状化現象による建物被害が多く見られたが、建物荷重の支持と不同沈下防止を目的とする地盤補強工事として、この工法を試験的に採用した埼玉県戸建住宅においては、基礎の不同沈下等の被害は見られなかった。



なお、「STパイル工法」は、当社オリジナルの地盤補強工法として特許出願をしている技術を基に、新日本製鐵株式会社（社長・宗岡正二 本社・東京都千代田区）と共同で開発。また、この工法に用いるテーパー鋼管は、同社の名古屋製鉄所にてスピング加工（※）したものをしている。

「STパイル工法」は、工期の短縮やコストの削減につながる工法であることから、地盤条件などを満たす場合においては、「住友林業の家」に積極的に採用することで顧客メリットの訴求につなげていく。

※一般構造用炭素鋼管を回転させながら絞り込み、杭の先端に向かって細くなるような傾斜を設けるように加工すること。

## 550号 記念対談 こぼれ話



門倉多仁亜さん 中村好文さん

対談が行われたのは、大型台風6号が接近中の7月19日。場所は神奈川県逗子市葉山町。建築家と料理研究家のお二人の組み合わせが一体どんな展開になるのか、台風の進路を気にしつつ、ドキドキハラハラで迎えた当日。我々編集スタッフはもちろん、中村さんと門倉さんも初顔合わせなのですが、お二人とも聞き上手、お話し上手で、そんな心配はすぐに吹き飛んでしまいました。



中村さんは家具デザイナーでもあります。写っているテーブル・椅子などはオリジナルで、「こはほとんどショールーム」だそうです。

「ウラに値段が……」とお茶目な中村さんでした。また、門倉さんは「本当に必要なものしか買わない。気に入ったものが見つかるまで、とりあえずの買い物はしません」ときっぱり。ちょっと耳が痛くなるお話でした。

お施主様のご好意で用意いただいた昼食の席上、中村さんお得意の、数十曲ある替え歌の中から「矢切の渡し」ならぬ「値切の私」を一節歌ってくださいました。気持ちいい家で、新しい出会い、楽しい会話、晴れたら今度はどんな気持ちいだろうと想像して、さらにいい気分になる、贅沢な1日でした。(S&K)

## サイン入り著書を 各5名にプレゼント!

今回対談企画にご登場いただいた、お二人の著書をサイン入りで各5名様にプレゼントいたします。ぜひご応募ください。



**A** 中村好文著  
『普通住宅、普通の別荘』  
(TOTO出版)

**B** 門倉多仁亜著  
『ドイツ式  
暮らしがシンプルになる習慣』  
(ソフトバンククリエイティブ)

### 応募方法

- 宛先：建材マンスリー編集室専用アドレスまでご応募ください。  
kenzai-monthly@sfc.co.jp
- 記入事項：①ご希望の本(AまたはB) ②氏名 ③会社名・部署名 ④住所 ⑤TEL ⑥今月号の感想 ⑦今後取り上げてほしいテーマ
- 応募締切：2011年8月31日(水)

※当選者の方には、9月中旬に編集室より発送させていただきます。

『建材マンスリー』はおかげ様で550号を迎えることができました。今後もより有益な情報発信に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひします。

編集室より  
**広告募集中!**

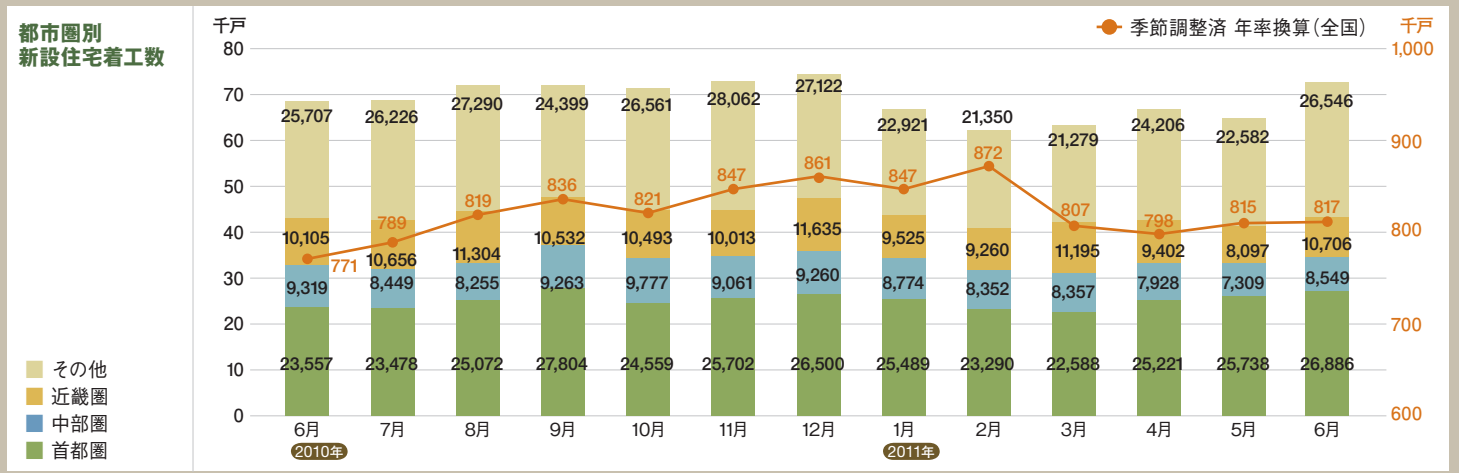
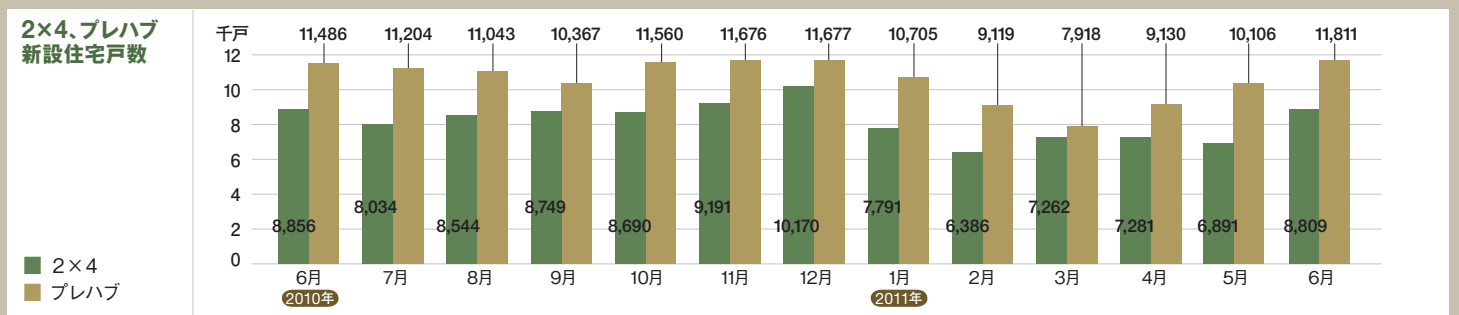
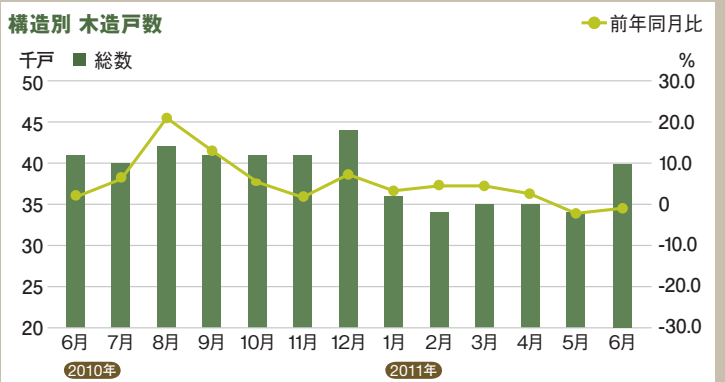
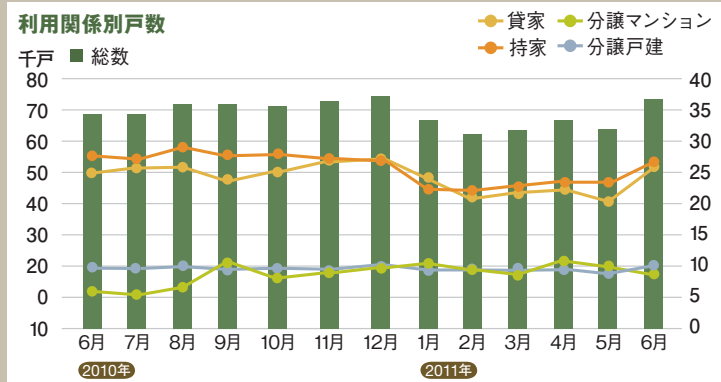
広告掲載・製品紹介のご相談、誌面に対するご意見、ご感想は  
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。



kenzai-monthly@sfc.co.jp  
住友林業株式会社 木材建材事業本部 (岸本(友)・齋藤)

【2011年6月の新設住宅着工】 △は減

		6月				5月	4月	3月	
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
<b>新設住宅計</b>		<b>72,687</b>	<b>8,961</b>	<b>14.1</b>	<b>3,999</b>	<b>5.8</b>	<b>63,726</b>	<b>66,757</b>	<b>63,419</b>
建築主別	公共	1,768	833	89.1	862	95.1	935	1,750	2,016
	民間	70,919	8,128	12.9	3,137	4.6	62,791	65,007	61,403
利用関係別	持家	26,931	3,403	14.5	△725	△2.6	23,528	23,554	22,863
	貸家	26,023	5,354	25.9	1,152	4.6	20,669	22,158	21,763
	給与住宅	643	△64	△9.1	187	41.0	707	722	689
	分譲住宅	19,090	268	1.4	3,385	21.6	18,822	20,323	18,104
	うちマンション	8,812	△1,194	△11.9	2,853	47.9	10,006	10,812	8,670
	うち戸建	10,203	1,407	16.0	537	5.6	8,796	9,413	9,324
資金別	民間資金	60,558	5,883	10.8	1,843	3.1	54,675	56,155	52,421
	公的資金	12,129	3,078	34.0	2,156	21.6	9,051	10,602	10,998
	公営住宅	1,577	748	90.2	941	148.0	829	1,390	1,712
	住宅金融機構融資住宅	5,958	909	18.0	671	12.7	5,049	5,789	6,016
	都市再生機構建設住宅 その他住宅	51 4,543	△4 1,425	△7.3 45.7	17 527	50.0 13.1	55 3,118	248 3,175	0 3,270
構造別	木造	40,249	6,123	17.9	△499	△1.2	34,126	35,282	35,425
	非木造	32,438	2,838	9.6	4,498	16.1	29,600	31,475	27,994
	鉄骨鉄筋コンクリート造	1,049	644	159.0	899	599.3	405	494	665
	鉄筋コンクリート造	18,181	△123	△0.7	3,877	27.1	18,304	20,415	18,221
	鉄骨造	13,072	2,288	21.2	△273	△2.0	10,784	10,465	9,006
	コンクリートブロック造	44	△29	△39.7	△16	△26.7	73	46	51
	その他	92	58	170.6	11	13.6	34	55	51





森を旅してみませんか？

住友林業 presents

森

人

MORIGIN



題字 宇佐美志都

いにしえより日本人は森に生かされ、森の中で学んできました。  
すべての森には、それぞれ違った表情があります。  
「森人」では森と共生する人たちを通して、「森の魅力」を伝えていきます。

ナレーター 鶴田真由



2011年7月10日(日)スタート  
毎週日曜 午後6時～6時54分

BS日テレはBS4チャンネル。全国どこでも無料でご覧いただけます。

